仰

ガ 森

ン 縣

ガ

X ケ

聊

力

其 生

形

態 態

ŀ

野

生

ŀ 李

狀

況

ヲ

記

ス

jν テ

事

=

ス

於 タ

w

野

1

桃

ŀ

及

F,

梨

=

就

ハ

雜

誌

園 w

藝之友

=

記

述

୬⁄

テ

퍄

jν

ガ

ı

`

二

植

物

學

研

究

家

ノ示

敎

ヲ

タ

モ

デ

竟

贋

パ

ン

ャ

゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙

r

n

生狀態ノ桃李及ビ梨ハ果シテ古昔ノ逸出品平

生狀態 ノ桃李及ビ梨ハ果シテ古昔ノ逸出品

森

乎

耕 次

李 古 全島 んじん ヲ 凡 セ 如 ナ + 栽 ŀ ガ ヌ v キ ソ 和 テ **୬**⁄ 作 梨 培 桃 Z) モ んぶらヲ 丰 李 H は テ ŀ 種 ハ 菊 物 湖 まだ 及 我 科 丰 野 就 種 F. 畔 jν 元 品 テ 以 梨 生 is 逸 æ 字 1 = ઢ 出 ヺ ح ば 外 デ ハ ٥ 逸 就 5 ア 態 被 ñ 5 ガ 植 3 ずず 出 同 箏 物 jν テ 植 P ッ ハ 私 力 テ ハ 果 Ź 物 樣 V ガ ıν 未 . 家 樹 春 逸 < 由 ハ ッ 出 單 嵐 退化 植 類 かぶしまなト ダ ゎ 來 v 品 充 字 3/ デ デ = デ **≥**⁄ 分 ア ア 蔬 蕩 ア 花 タ タ **≥**⁄ テ 原 jν 菜類 モ = jν ノ ıν 科 モ 候 海 ` 研 種) = 尤 屬 ガ 究 此 岸 殊 デ = 疳 力 自 新 其邊 ァ 3/ Æ 等 止 上 原 = ス ラズ花 ラ だ jν jν 稱 野 コ) = ŕ 黄 ガ 植 等 あぶらな、 3/) = V 繁殖 判斷 内 物 金 こん 現 タ w = 事 夥 今 弄 ハ 1 É 島 j 凡テ逸出 = = €/ **୬**⁄ ノ・ ハ 於テモ ヨヲ現出 テ 聞 作 困 ク 如 \mathbf{v} 發 終 ちご だ 4 力 # 物 ルナ 點 生 = ハ V 一之ヲ見 才 こん、 全 類 别 或 ガ ₹/ **≥**⁄) 多 經 美 殊 ク = jν 路 觀 野 近 者 はまだ 才 = 舊 かぶら、 生 生 年 ハ ル 言 ハ 語 南 廣 渡 旣 物 ハ 日 來 知 野 = 部 ŀ 小 V ク 生 日 化 頃 セ 絕 領 ح 野 私 は 外 ス フ **୬**⁄ jν モ タ h 所 目 jν y ぼ タ ノ ŀ = `• 思 謂 墼 . 3/ た 蕪 モ = 稱 逸 鮫港 ん等 島 依 ナ 出 1 フ 歸 3/ ス = ッ ッ ıν デ 化 タ) 3/ テ 中 變 菜 植 テ ハ ヲ テ ハ 此 我 丰 海 種 ナ デ 始 物 殆 ハ 島 實 野 ナ 最 中 ィ jν ŀ メ へ乗がた 生 ガ 野 رر 力 w ナ ŀ æ 事. ŋ 'n ŀ 未 生 著 3/ がぶらデ 叉 態 ダ 繖 植 €/ ŀ 人 嶋 Z) ノ桃 知 形 物 力 名 嶼 2 科 6 狀態 ナ ١,٠ テ 着 付 = 夕 往 Ħ ľC

佐 藤 息

Prunus Persica Š ET Z. 支那 原産デアッ ź 漸 次 地 = 俥 ッ ヌ モ 1 ŀ 云 フ 說 ハ 今 最 モ 有 力 ŀ ナ ッ テ

T 丰

力 於

ラ テ

國 ハ氣温

產 力

タ

) 傳

ガ

自

生 V

我

早 = ク

ラ €/

ヲ モ

テ

居

ヌ

۲

テ

デ 1 7 ラ

ź 3/ 卥 素 =

桃 我 Æ

激變 所

> ナ デ

ガ

野

事

戀

化

激シ

1

場

ヲ

選

デ 1 ナ ラ

自生 風 イ 土 事 テ

୬⁄

テ 適 明 ラ デ ア w

力 生

モ 桃 日

光

野生ノも b (佐藤耕次郎寫生 計) (Prunus Persica Patsch. var. subspontanea Makino.) (此學名ハ編輯者挿入)

實 直 高 野 射 ッ ν 清 的 テ 最 木 原 數 激 モ jν モ ガ 見 モ ク 水 モ 新 ケ 發 3/ 二 此 處 生 タ Щ 多 ス シ ハ 於 反 Æ コ 何 多分 處 テ ィ 桃 崖 ガ デ 力 = ス 其 ₹/ 出 此 林 7 ッ " Æ 寸 モ jν 地 Щ 頃 タ 自 見 桃 高 張 來 ケ 同 Щ ヲ 地 逸 來 受 IJ 處 ダ 原 見 山 出 タ ガ ラ テ 種 多 生 Æ 尺 ヲ ゥ ラ 荒 數 形 長 南 塊 ŀ 種 ナ 荒 律 物 jν 地 小 地 モ 力 ナ 近 產 輕 色 思 子 發 產 jν 生 廢 ッ 力 然 生 郡 **≥**⁄ 點 モ V 自 ラ Æ 處 山 ヌ Æ 地 津 テ ハ 出 地 ガ 小 野 形 輕 3/ ヲ 不 村 其 デ 地 生 夕 原 時 事 明

比 生

テ 於

野生状態ノ桃李及ビ梨ハ果シテ古昔ノ逸出品平

中

於

テ

之ヲ見

iv

力 幹 デ

栽

办

オ

ガ

ズ

ッ

ŀ

昔

力

ラ

ŀ

劣種

ガニ三

ア

IJ

叉

野

生

種

同

樣

Æ

ガ

處

1

村

於

テ

能 v 泉 ク 發 テ 開 4 僥 形 溒 近 花 w 常 テ ŋ 3/ 山 叉 居 = 拁 能 矮 デ ヲ " 小 朓 此 結 而 ガ 暫 數 2, 桃 3/ 3/ ス テ テ 年 jν 開 栽 叢 1 jν ヲ 培 + 花 牛 時 ヲ ハ V 桃 恰 四 ナ = J۱P 浲 尺 ŀ **₹**/ モ テ 着 桃 異 蟲 居 色 Æ IJ 3/ 1 病 タ タ jν 品 Ш ガ = × 南 ŀ シ 害 元 ŀ 來 化 向 テ = 坐 開 桃 3 候 其 Ш 花 ス 、美質ニ言 排 jν 面 タ 實 抵 水 メ 抗 = ス 質 佳 jν モ 槪 生 頗 ۲ モ 良 ネ 樣 ガ 7 ナ 枯 w ガ 悉 ۱ر 强 砂 ナ 敢 質 ク 1 3/ 桃 カ テ 土 新 ッ 珍 叉 = = 叢 此 適 **≥**⁄ 根 桃 ス 林 " 本 ヲ ナ w 力 以 他 ラ 1 ガ ラ 自 新 大 野 被 生 枝 生 Ŧ. 地 ヲ 狀 萠 七 デ 態 モ 出 Щ 年 殆 Ш ス 丽 果 봡 形 ١, w 樹 村 荒 ŀ 拁 ソ 滿 温が異 湯ユリ 結 3

叉葉 思苦 略 扨 同 ッ 生 ボ テ Æ テ 尖圓 Æ H **≥**⁄ ヌ ガ Y = Ш 行 ナ 枝 形 桃 兼 ガ 7 キ 幹 形 桃 洋 ۴ ソ ij 村 ヌ 小 事 ヲ 頹 大 w = ŀ 生 其 チ 於 栽 Ŧ 質 成 桃 今 1 處 劣 板 デ 桃 テ 掊 3/ 花 密 知 7 等 æ ガ オ 頂 屯 ν 我 原 端 尙 淵 = サ 桃 タ w 所 林 古 泉 ガ゛ 種 **୬**⁄ 小 ゥ ŀ ホ デ = 傍 砰 テ デ 弫 ソ ŀ ク ガ 逢 食 4 굡 ァ 細 沂 ガ ₃⁄ 何 v フ 崩 亞 南 ス 往 ŀ テ 出 jν 兩 Ш 津 jν k 言 ۷١ = 3/ 處 見 餘 果 果實 各 堪 拙 寙 フ ガ ヲ 亩 異 地 斜 郡 = ラ 1 IJ 夾 地デニ 頗 ナ 丽 jν Æ = = フ Ш ۱ر 李治自 形 桃 進 軟 テ jν w イ 小 處 似 樣 化 居 村 ガ 毛 形 生 デ 數 高 孰 7 ヲ タ ダ 何 **୬**⁄ ダ w 百 中二 jν 清 Æ 過 期 密 Æ ŀ 力 時 町 水 ギ 4 ŀ 頃 ハ 步 Щ 晚 雖 共 ガ 屯 テ ス 能 ガ 我 = 淘 丰 他 P 孰 jν r ク 國 モ シ jν 潜 jν 山 同 n 普 比 テ 部 較 樣 ヲ 成 ŀ 崖 郡 這 通 謂 淺ヶ思 桃 孰 = 3 入 木 思 屬 實 テ 瀬セハ 源 セ ッ ナ 見 石ミシ 生 記 H jν タ ス 我 = Æ iv モ 物 タ ŀ jν 芳 = 或 jν 位 云 w デ 生 Ш フ 力 力 花 小 ハ 大 屯 ス 抽 我 鮮 = 不 ラ 生 語 部 早 溪 桃 明 デ jν 美 赤 1 = 該 ァ サ 於 7 Æ ナ ヲ 野 jν 力 英 大 桃 ヲ テ 同 ラ 有 生 康 ガ ヲ ₃⁄ ハ 郡 之 現 珍 。地 中 r 果 紛 ケ 3/ 何 ヲ ラ 武 仐 肉 果 ŀ タ w V 居 植 3/ IJ 陵 ۴ 形 差 Z ク 云 = Æ 栽 水 異 ハ ナ テ 逸 培 分 依 天 ķ Æ 最 居 出 魚 津 ŀ 種 無 w 大 Z ダ ヲ 物 水 1 崎 捕 支 原 蜜 岸 ナ 3/ 那 我 IJ 頹 桃 ヲ ク デ 111 谿 且. ァ 地 夾 デ ŀ 系 地 方 Æ ッ デ w

(佐藤耕灰耶寫生 自然大但シ花ノ解剖圖ハ廓大) 野生ノすもも (Prunus salicina Lindl. var. subspontanea Makino.) (此學名小編輯者挿入)

na Lindi.) 西洋 Roxb. (P. salici-

並ニ米國種 P.

P. domestica

Prunus triflora

sn. ノ三種ニ大 americana Mar-ガ野生李ハ全ク シテ居ッテ triflora 1 右 キモノデア ホカ 我

タノハ南津輕郡黑石町地方ノ山原草地デアル、 向 近時ハ土地ノ開 山原 ニ共産 拓 少 ŀ ŋ 共ニ ナ 1 里近 ガ 漸ク薄ライデ居 生 , 李ヲ東洋種 山 園藝家ハ栽 目 擊 **୬**⁄

中デ其最モ夥シカッ

家

偶 = 放置 サ

v テ 居 jv ノガ間

々見ユ jν

又純野生ノ

モ 1

地

林

產

w

=

產

jν

モ

۱ر

车

车

都

度

ラ

w

jν

ŀ

野

火

爲

X

前

Ш `

地

デ デ ナ

見

タ 通

モ 老 Æ

,

ハ ナ ス

髙

サ Æ

凡

ソニ

間

幹 ガ

廻

ŋ 草 ス

三尺

1 來 1

モ ナ

ノ

ガ 場

アッ

=

ノ

野

俗

=

Щ

李

里

ガ

춈 ŀ

大

jν

,

ヲ

見

ヌ 地

収

出

1

所 lik

ャ

林

= =

ア 切

w IJ

モ 去

=

可)

ナ

ŋ

大

形

木

ヲ 地

見 Ŀ

jν

正狀態ノ 李及ビ梨ハ果シテ古昔ノ逸出品平

端 梗 緣 花 同 濞 亢 F 形 色 長 卵 = 卵 見 涔 小 ソ ハ 目 被 形 7 サ 狀 流 乃 葉 形 做 某 **≥**⁄ = 才 レ 、橢圓 叉 ŋ ハ 至 叉 ъř Æ w ス 米 狀長 乃 Ш 長 刺 + 開 ŋ べ 廣 毛樣 卵 形 該 桃 モ デ 至 ス サ三・五三 發 * ŀ 長 李 賏 倒 サ ス ヲ ŀ 圓 極 = 3 Ł ナ 披 jν 共 形 ソ 膫 サ ŋ П メ」多 小小齒 事 針 乃至八 北 九 **≥**⁄ = 劣 デ = メ」花 テ 筝 ア 形 基部 睽 冱 士 眀 3 モ デ r *y* 褐 道 jν デ IJ 7 + ガ 3 八五三 n, 老木 色 二十二 絲 少シ 7 短 Æ P 果實 明 w モ 乃 'n 縮 ヲ _幅三十五 - 先方少 ク 凸 產 膫 帶 長サ九乃 ŀ 至 セ = 長 於 デ メ」柱頭 F, ッ ハ jν ス 四「ミメ」 ハ メ」内外 サ四「ミメ」幅 田 花枝 球 テ 長 素 7 jν r リ冬芽 事 以サニア 形 · シ w . •∕ ハ全樹皆花 3 ì 至十 花爪 直 7 ョリ ŋ ヲ ハ黄褐色ニシテ平坦、 細 聞 同 核 徑 ノ長サヲ有ス メニュ アナ 花 出デニ乃至四輪ヲ着 至 テ 樣 冠 丰 割 jν 三 達ス 一・五「ミメ」乃至 合ニ ŀ ス Æ jν 1 ノ ミリ メ」幅六乃至七「ミ 花 葯 直徑二十「ミメ」內外、 觀ヲ呈シ香氣ガ頗 ガ 大形、 ıν 花瓣ノ先半部 ゛デ 瓣 ソ ハ ۶ 3 稍 P メ ニ 1 葉柄 緣齒 緣 + jν ŀ 野 果實 ヲ普 橢 齒 jν 生狀 ヲ具 子房 今山 ン 圓 以以 微 1111 " 形 有 ٠, 通 八 無 熊 細 ヲ 地 ŀ ハ メ **ニ** ナシ 乍 萼 葉 月 自 シ 小 jν メ」夢筒 方緣 果 ・ラモ 柄 高 3 頃 Æ 形 ハ 生 普 花 梗 開 雄 成 漏 メ イ 1 デ 不完 蘂 Ĺ 熟 側 斗 瓣 Æ 通 デ 裂 ハ 小 = 一李ヲ 丈夫 方 不 形 花 \mathcal{T} ス ハ ハ ハ -3∕ 多數 ĪĒ. デ五 果 全 略 梗 ヲ jν = V 五 ŋ 記 デ 採ッ ナ ŊŸ 力 ナ 個 ボ 面 膨 ハ ス 綠 重 黄 片 半 黄 長 jν 漏 = V 横徑 テ 色デ 色 鋸 個 褐 鈍 少 サ 常常 **୬** 斗 驗 歯 狀 夢 養 媰 テ 3/ 色 ŀ ハ 蜜腺 片 + 基 夢 办 ス ク ヲ 綠 ŀ 釆 ヲ ナ 異 部 片 乃 ŋ 茧 ナ ナ ナ ν ヲ ヲ ŋ 色 備 有 塵 至 フ ヲ jν = **≥**⁄ **୬**⁄ ŀ 3 ヲ 點 有 輪 基 .∵ •⁄ 毛 デ 面 ソ 帶 フ Ħ. メ 冬芽 色 部 力 7 ス 雌 生 生 ガ w ブ 白 ガ r ŀ jν 梗 シ 叉 3 葉身 長 1 改 葉 花 時 漸 綠 思 力 色 窪 純 ıν 次花 良 色 小 柱 短 白 果頗種 倒 不 辦 色 ハ

3

リ自生

シテ居タ

モノデアル

カ叉栽培梨ノ逸出生ノモノガ 野生狀態ニナッタ

Æ

7

デ

アル

力

疑

問

=

附

ザ

梨 我國ニ自生ス jν Æ 1 ガ少クナイ、 今迄ニ 知レテ居 ıν æ

Pirus dimorphophylla Makino. まめなし一名いねなし(伊勢産

駿州富士

aromatica Kikuchi et Nakai. いはてやまなし(陸中産

crassipes Kikuchi et Nakai. hondoensis Nakai et Kikuchi. あまごなし(羽前産 あをなし一名いしなし(信州及

F,

駿州

7 sinensis LINDL. なし(各地産 Uyematsuana Makino. あいなし(伊勢産)

等尚 純粹 種類 北地 其後ニ發表サレタモノガ數種アルガ、 方ニ産スト言ッテ居ルガ如何ナモ 野生種 關 係 ナク デアル事ハ其研究學者ニョッテ疑ハナカラウ、 シテ他 國ョリ ・輸入サレタモノデアル ノカ、 叉或ル 扨只今栽培サレテヰル 園藝學者ハ洋梨系ノモノ即チ P. communis L. カハ 一ノ硏究問 ケレドモ吾地方ニ自生ス 日本梨ハ右 題デアル ŀ イノ何レ 思 フ、 ル梨ニ就 3 然 リ出來 シテ右 ノ野 タモ ラ 種 小生 生 力 物 叉 何 ガ ハ 其 右 我 Æ

分種 石 ŀ 類 ナ 人里 稱 Ź ガ ニス ァ デ ıν ガ中ニ モノハ今モ稀ニ宅地 アル、元來吾地方ニ ツベ モ夏梨ト ・稱ス ハ此野生梨ニ極ク近緣ナ地梨ト云フモノガ處々ニ ル小形果ノモノハ最モ野生梨ニ近イモ 一隅ニ成育シ又ハ半培養的ニ放置 ら フ、 サ レテアル ノデアル ` ヲ見ル、 植ヱラレテア 更ニ叉野生梨ト略 ŀ 然シ此石梨ト įν コ ボ v ୬ 同 = 云 テ人 フ Æ 隨 ナ

里 早晚 r リ果形 一跡ヲ絶 ノ大形ナ美味ナ地梨ハ キ運命ノモ 時々剪定整 ノダラウト思 枝サ V テ圃 カウ云フ風ニ我地方デハ栽培梨 地宅地 培 ンレ 比較的劣種 ナ夏梨ヤ 野生梨ト 小 果ノ ガ混同 地 粗

野生狀態ノ桃李及ビ梨ハ果シテ古昔ノ逸出品8

アッ 遺 地 sinensis 種 生 放 テ ナ 子 地 爈 テ ッ ダ = = タ 入ッ テ 梨 乍 字 4 力 ラ 梨 植 Z Æ **≥**⁄ 中 ヲ ラ 力 產 梨 氣 ゥ ラ 抽 テ ガ Z. 栽 實生 一个日 ŋ = ハ石梨 テ 幼 ガ モ ナ ラ 加 **≥**⁄ ŀ 1 態 培 栽 文 屬 Ж 地 云 其 IJ * スレ _ 4 角 植 更 サ 深 ス テ ハ フ ハ 間 野 山地カラ劣悪ナ野生梨ヲ掘リ採ッテ 人ハ多 於 必ズ石梨 ナイ = jν ソ ガ Ш Ш ハ ヲ = 粗密ア ٧١<u>٠</u> 出ルト云フ入ノ 生育 劣等 丈ニ ア 悡 モ 4 連 ナ v テ褐色叉 直徑 'n 林 棃 分 ガ ŀ 1 結 ッ グイノ ŀ 更 ナ石 地 屯 , シ ス 迺 ٠ ١ 生 y 思 ν F. 二 呼 味 ヌ jν 樹 ŀ ・ナル デア 形 ラ . モ ガ又退化シテ石梨ト 進 梨 ハ帯 Æ Ŋ Æ ŀ セン 知 雖 稀 ノデアル 化 V , シテ過分 常常 jν 樹 綠 主 デ シ モ ŀ ル、小生モ ハ 直 = チメー 範圍 - 云フ理デ ノアルカ テテクロ 見 言モ 我野 素 木同様 褐 = ョリ 灌 山 jν 内デ 而 聞 イ ヺ 中 7生梨ト 木 ŀ ŀ 同 只 狀 今其野生ノ狀態ト 見 v 叉山地 1 思 ・ルしノ = 草 ・テ居 ハナ 亦ソレ ブ ヲ テ w 1 ナ 地 隅 Ш 地 jν ŀ jν ŀ ナ ガ Ш ₹⁄ 地 = 大果ト jν ィ 系統ニ カラ自生 梨デアル、 = = ル、依ッテ我 言フノハ y 高 _ 放置 點 地 = П 人家ニ植ウル 要ス 現ニ 終 幹 ア ハ多少信ヲ措 生 , サ 數尺 三野 出デ 日本 高 jν 3/ サ モ 於 風 地梨 モ ノモ jν V ナリ 老木 外二 形態ヲ略記 而シ 梨 テ = 1 ニ我野生梨 タ 其 激 於 止 野 石 ハ ノヲ jν ŀ 小生 ノ 實 逸出シテ只今 樹皮頗 テ ŋ 3 生梨 テ石 ナッ 梨 **୬**⁄ = 3 愚 全カ 老木 枝椏 イ日 パイテ居 移植 相異 ŋ ハ ガ タモ 海 カ 梨ト 叉 ノ實 多 拔 栽 者 光 ラ ガ ヲ **≥**⁄ ナ ハ 山 .. •∕ イ 培梨 野 屯 稱 r モ 粗 1 驗 jν ŋ 汐 = . 力 デ 生種 親木 ガ其理 jν 張 千 直 ゥ ナ 雜 ス ソ モ モ カラ ラ ァ 户 ソシテ過熟 jν ŀ ガ **୬**⁄ 射 = v 多 野生梨 デ 內外 最 優 jν 地梨系 ナ 往 3 デ ス ŀ デ 7 ァ ウト 力 jν 由 今 自 屯 **୬** IJ アル 叉改 新 場 近 テ رر 日 生 良種 枝 邊 所 思 ガ 周 ハ 往 1 1 **୬**⁄ カ ケ 兎 出來 枝 ヲ發 劣等 = 野 ス 良 梨 7 フ 時 夫レ テ ν デ 多 生 V 力 尺 屯 居 ŀ ハ ۴ 角果實 分 色 位生 バ ラ テ ィ 出 種 種 Þ 日 野 w ヲ 布 [テ居 Æ Æ デ 本 ス ガ 相 モ 4 デ矢張リ 知 多分 綠 ァ ıν 相 梨 毛 3/ 時 應 梨 地 ッテ 品 比 ガ ŋ 應 梨 = デ 力 質 地 水分ト 大形 Ш 叉石 ナ ヲ 較 山 丰 實生 ア ラ 見 良 梨 實生 林 的 然 進 優 林 jν jν Pirus 裼 梨 ୬ 種 內 高 デ 人 化 劣 力 ガ 實 地 ガ

ŀ

雖

Æ

野

7生梨ト

等

シ

ŋ

悉ク有蒂果ノミデ樹勢

い類ル

强ク病蟲害

Ξ

對

jν

抵抗モ亦强 ガ我地梨ト

オ

雜誌園 レド

一藝之友

ノ表紙ニ

出テ居ル ノ林端

ラ御密考ニ

供

サレタイ

序デニ記

スル ス

云フェ

ノハ果形ニ大小ア 該野生梨ノ寫生圖

ŋ

該梨ハ野生

'n

/開花

7

割二

結實

ハツナ

イ蓋シ霜害ノ

タメカ然ラザレバ結果養分ノ不足ナ

ノデ

ァ

ラ

ý,

ケ

Æ

山

林

內 李ト

=

ァ 等

jν **୬**⁄

Æ

= アル カ

モ

ノ或ハ溪谷ニアル

モノナド

ハ少數乍ラモ

結實スル、

所管トナッテヰル

ŀ

多少 蒂ハ不落性 形 培ノ日本梨ニ差異 漸 ŀ ・ナリ ルヲナ 尖ヲ呈シ 水分 一帶赤褐 果面 'n ì 成 香氣 ロデアル テ鋭 色 孰 ハ 常 デ ス ŀ = 枝 7 ヲ有ス 他 表面 ŊŸ Ĺ 果肉 種 稍 ナイカラ記載 ヤ扁 濃 銳 3 ٧ ŋ 綠 イ針 ハ頻ル堅ク粗ライ石細胞ニ富ム、 Æ 圓 ヲ帯ビテ光澤ガ 果實ハ往々落果セズシテ木 形 枝ヲ有 粗糙デアリ、 トナル直徑三「センチ」内外ヲ普通トス ラ略シ ヌ jν タい花梗上及ビ幼葉面 果梗ハ凡ソ四十五「ミメ」ノ長サヲ アリ裏面ハ淡色ヲ帯 葉 ハ普通梨ニ 似 **乃伊**狀トナッテ樹上ニ ラ殆 味ハ酸澁デ到底食スルニ堪 ノ綿毛ハ比較的僅 ۳, ١, 葉緣 同 樣 ル ニハ鋭 觀 幼果ハ 有シ ア 1 存スルヲ見ル 細 V 梗窪 帶綠褐色デ成熟ス 少ナ ŀ 齒 多 ヘナイ ハ ヲ具フル ŋ ア別附記 廣披 淺ク又蒂窪 針 (過熟シ にスル 形 花部 アナ Æ レ タモ バ黄褐 果實 淺 シン 總 3 力 葉 , €/ テ 先 色 栽 テ 球

以上 種 野 生狀態 7 果樹ニ就テ小生先年以 來園藝的 利用 試 験ヲシテ居 jν ガ其結果 ハ 別ニ記が (大正七年七月) 載スルデア ラ ゥ

東京白金ノ舊火藥製造所地內ノとらのをすずかけトはまくさぎ

野

牧

富 太 鄎

東京市芝區白金臺町ニ約ソ八萬坪程モアル舊火藥製造所卽チ通常舊火藥庫跡 隅ニ金比羅神社モ祭ッテアッタト云フ事デアル、此構内ハ今デモ尙樹木ガ多ク(明治初年ニ大木ハ伐テ賣 思フ ガ其移管ノ前ハ 海軍省ノモノデアッタ、 此處 二原 ŀ ŀ 讃州 稱ス 松平 jν 敷地 侯 ノ下屋 ガアッテ今い宮內省 敷デアッテ 其

東京白金ノ舊火藥製造所地内ノとらのをすゞかけトはまくさぎ